



どんだんの主力商品 肉うどん

- 本社所在地：山口県萩市
- 事業概要：うどん・丼のチェーン「どんだん」の運営（46店舗）、セントラルキッチンによる食品製造・販売
- 常時使用する従業員：550名（2026年9月時点）
- 現在の売上高：32億円（2025年9月期）
- 法人番号：2250001008032
- Web：https://www.s-dondon.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
砂田 透

一億人の実家 ～うどんを通して、幸せな思い出を日本中につくります～

1971年、萩の小さなうどん店から始まりました。私たちが目指すのは「一億人の実家」です。ただいま、おかえり、ごちそうさま—その言葉が交わされる場所を、日本中に増やしていきます。

売上高100億円は目的ではなく手段です。人時生産性の向上によって生まれた原資を、社員・パートナーの給与と待遇の改善、そして地域の雇用創出に還元します。機械とシステムに任せられる仕事は任せ、人にしかできない「お客様と向き合う時間」を増やす。山口のローカルチェーンから、日本の食卓を支える企業へ。2036年に売上高100億円を達成し、その先へ挑戦します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2036年に売上高100億円を達成する。（2025年9月期 31.6億円 → 年平均成長率約11%）
100億円は通過点とし、2041年に売上高135億円を達成する。
・店舗数：46店舗（2026年）→ 100店舗（2034年）→ 155店舗（2041年）
・店舗平均月商：100万円増
・営業利益率10%を維持し、成長投資と処遇改善の原資を確保する。

課題

- ①年間8～10店舗の出店を支える店長・エリアマネジャーの確保と育成、組織化・分業化が追いついていない。
- ②出店加速に伴うQSC（品質・サービス・清潔さ）のばらつき拡大。
- ③出店コストが上昇傾向にあり、出店のリスク上昇。
- ④セントラルキッチンの生産能力が足りず、100店舗超に対応できない。
- ⑤基幹システムが未整備で迅速な経営判断ができず、DX人材も不足。
- ⑥出店・新工場投資に伴う資金需要の増大。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ①ドミナント出店の加速：山口・広島・島根・北九州の郊外立地に標準店舗を集中出店し、45店舗（2026年）→100店舗（2034年）→155店舗（2041年）へ。店舗開発部を新設し、売上予測モデルを作り、出店の精度と速度を両立する。
- ②新セントラルキッチンの建設：取得済みの自社用地（山口市・約6,000坪）に100～300店舗対応の新工場を建設（投資約15億円／新規雇用50名）。品質と原価の両面で差別化する。
- ③既存店の底上げ：夜間・テイクアウト需要を開拓し、月商100万円増を目指す。
- ④食品販売事業を第二の柱へ：冷凍うどん等のEC・卸チャネルを拡大。2034年に1億円をめざす。
- ⑤全社DX：基幹システムを導入し、生産性向上分を給与・待遇の改善に還元する。

実施体制

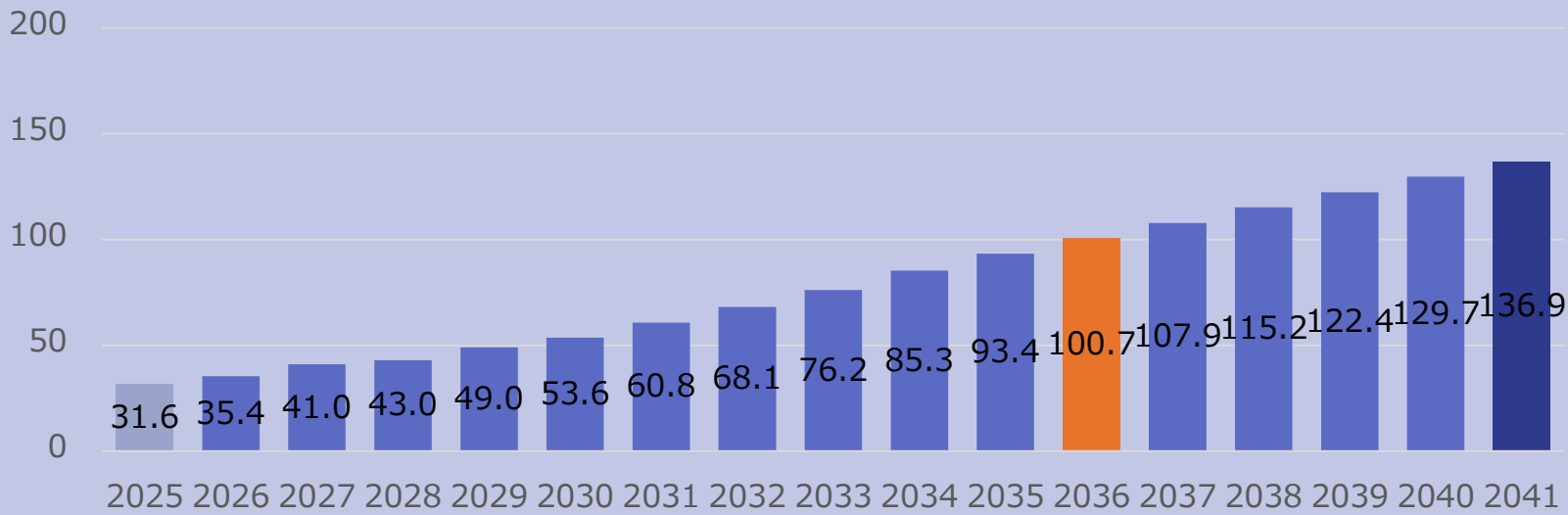
- ・営業本部に新店立ち上げ部門の設置、さらに店舗開発準備室を店舗開発部へ格上げし、多店舗出店体制を構築する。
- ・製造部門を強化し、新工場プロジェクトチームを組成。外部の知見を活用しつつ社内人材を登用・育成する。
- ・情報システム部門を新設し、基幹システムを導入する。
- ・新卒採用は専門部署を立ち上げ、安定した定期採用を目指す。評価制度と教育店舗でのOJTを仕組み化する。
- ・経営幹部候補の育成と権限委譲を進める。
- ・中小機構の伴走支援、金融機関、自治体の企業立地支援を活用する。

（別紙）売上高100億円実現の目標

既存店の売上底上げと年間8～10店舗のドミナント出店、そしてセントラルキッチンの新設による供給体制の強化により、2025年9月期の31.6億円から年平均約11%で成長し、2036年に売上高100億円を達成する。

100億円は通過点と位置づけ、2041年に売上高135億円（155店舗）を目指す。

売上高計画（単位：億円／各年9月期）



■ 2025年9月期（最新決算・実績） ■ 売上高計画 ■ 2036年：売上高100.7億円達成 ■ 2041年：最終目標136.9億円

【マイルストーン】

- 2029年 49億円／55店舗
中期3年計画。年間4～6店舗の出店と新工場の設計・施工に着手。
- 2034年 85億円／100店舗（外販部 売上1億円）
年間10店舗体制を確立。
- 2036年 100億円／115店舗 ★達成
- 2041年 135億円／155店舗（最終目標）

【100億円到達までの前提】

- ・店舗平均月商 100万円増
- ・新セントラルキッチン（山口市・約6,000坪／投資約15億円）で100～300店舗の供給に対応
- ・営業利益率10%を維持し、成長投資と給与・待遇の改善を両立

※金額は各年9月期。2025年9月期は最新確定決算、2026年9月期は当期のため見込値。
※様式2は最新確定決算（2025年9月期）を起点とし、宣言後1期目を2027年9月期として記載。